

**愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化  
対策**

**立田**地区説明会

令和5年3月19日（日）

午前9時～午前10時53分

立田中学校体育館

当日参加者数 102名

## 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策立田地区説明会について

令和5年3月19日（日）午前9時～午前10時53分 立田中学校体育館

参加者からいただきましたご意見、ご質問と回答は以下のとおりです。

質問1	スクールバスにかかる費用はいくらか。
回答	スクールバスの運行をしなければならないところまでは検討されていますが、費用については、現段階ではお答えできません。
質問2	費用について、現段階で算定するべきではないでしょうか。
回答	市教育委員会としては無償と考えています。
質問3	後々、有償になりませんか。
回答	市教育委員会は無償と考えています。
質問4	適正化より老朽化対策を優先すべきではないでしょうか。今の建築基準で新しい学校を建設すべきではないでしょうか。
回答	老朽化対策については、随時修繕を進めています。
質問5	2月に文化会館で教育長が「一人でも説明を受けたいと言われれば、教育委員会が説明する。」と言ってみえたが、気持ちは変わらないでしょうか。
回答	その気持ちは変わりません。たとえ一人でも時間を許す限り、お話いたします。
質問6	立田地区の検討協議会の議事録は掲載されていますか。
回答	3月20日までに参加した委員より修正等を確認してもらっているため、3月22日には掲載できると考えています。
質問7	早尾の自治会で適正化の件について話すので、説明を求めたら来てもらえますか。
回答	説明の要望は歓迎していますので、事前に日程調整のうえ伺う形になると思います。
質問8	耐震審査・耐震改修等はされていますか。現行の基準で行われていますか。
回答	平成17年前後に耐震改修工事がされています。基準は神戸震災の基準で改修されています。
質問9	建物は現行の校舎を活かすような方法を検討すべきではないでしょうか。民間でも古い建物は取り壊さずリノベーションしているケースがあるのでそのようにしてほしいです。新築の建設の話が出ていますが、国の補助を受けて耐震改修した学校を償却期間以前に取り壊すとペナルティが課されるのではないのでしょうか。
回答	老朽化対策前に必ず調査を行い、その調査結果をもとに改修方法を検討してまいります。また、学校は国・県の補助を得て建設しているので、できるだけ長く利用できることを考えて進めてまいります。
質問10	少子化が進んだのはここ数年の話ではないので、もっと前から検討できたのではないのでしょうか。
回答	市教育委員会の説明不足や進め方に課題があったと考えており、反省しております。
質問11	ICT等の導入について国会等で議論されていますが、ICTを活用すれば大規模の学校を作る必要がなくなり、地域に根付いた教育環境が作れるのではないのでしょうか。
回答	現在、GIGAスクール構想の中で生徒にタブレットを配布しています。ただし、オンラインではなく対面による絆や仲間づくりが教育の中で基本となると考えています。そのため、一定の規模の学校・生徒が必要と考えています。

質問12 (ご意見)	学校の適正化・統合の話は平成の大合併の頃から出ています。学校という拠点が立田から無くなるということは、地域のコミュニティが無くなってしまいます。富山の舟橋村は、合併に反対した理由について当時の町長は「一番の心配が村の学校が統廃合されるのではないか。」と言っていました。簡単に小中学校を統廃合すると、佐屋に人が集まり、立田・八開から人がいなくなります。学校は地域の拠点となるので、維持してほしいです。
質問13	令和12年度にC小学校を開校するとなっているが、資料の立田地区の子供の人数を見ると、いずれこのような説明会や検討会が開催されるのではないのでしょうか。また、スクールバスの運行について、中学生だと部活動をしている子、していない子で下校時間が違います。下校時間が遅い子は親が迎えに行かなければならないのでしょうか。
回答	ここ数年で子供の人口が急に右肩下がりになっており、以前の立田・八開地区の統合計画のままではいけないと見直しをしました。小学校は複式学級になった時は適正化の検討をしなければいけないが、立田北部・南部小が計画のままC小学校になったとしても、当の間は過小規模校にはならないと考えています。 スクールバスについて、文部科学省が出している活用事例も拝見しており、様々な事例に対応できるよう検討していきます。
質問14	児童の人数が少なくてもできることはあるので、子供のことを考えた計画になっていないと思いました。また、小学校の放課後について、C小学校に通う立田北部地区の子と立田南部地区の子が遊ぶとなった時お互いの家に自転車で行き来するのは、親として心配です。愛西市には遊べる拠点もないと思います。
回答	小規模のデメリットだけでなく、メリットも有識者会議では議論されています。市教育委員会では、小学校・中学校の小規模の考えはそれぞれ別で考えています。また、放課後については、放課後クラブ等で空き施設を利用できるようなことも検討していきます。
質問15	適正化について、地域住民や保護者の意見を重視するようにと資料に記載されています。回覧板でみた保護者のアンケートでは、立田北部小で7割が反対、立田南部では6割が反対になっているのにそのような計画を押し付けているのはどうなのかというのが印象です。自分は3人の子の親だが、子は小学校・中学校では小規模だからこそできたすばらしい体験をしているのに、なぜ大規模校を目指すのか理解できません。世界は小規模校の流れになっています。コロナ過で小規模校のメリットが多く生まれているはずですが、老朽化対策について、なぜこのような状況になるまで放置しているのでしょうか。
回答	保護者の意見は、教育委員会や検討協議会で重視しています。アンケートの結果では、適正規模になる際の課題について意見を多くもらっているので、これらを解決できるように検討していきます。愛西市が適正化を進める理由として、先生の数・子供の学習・子供の成長の3つがあります。特に中学校では先生・生徒の数を増やし、子供たちに幅広い学習展開をし、成長してほしいと考えています。老朽化対策は、早急に進めます。
質問16	佐屋中と立田中が統合になった際は、大規模校になると思いますが、急に小規模から大規模になると子供に影響があるのではないのでしょうか。
回答	令和10年に1年生が201人、2年生191人、3年生が218人になります。愛西市は愛知県の基準より、1年生が35人学級、2・3年生が40人学級としています。それに沿うと、1年生は6学級、2年生は5学級、3年生は6学級となり適正規模となる見込みです。ただし、あくまで現状の基準のため、将来的にこの基準が変わると大規模になる可能性もあると考えています。
質問17	令和10年度に統合すると、3年後に立田中学校に入学する生徒が立田中学校で卒業できないこととなります。このあたりの期間が短いと思いますが、どう考えでしょうか。
回答	学校の再編の仕方はいくつか考えられます。統合前には授業の支障が出ない限り生徒同士の事前交流の機会を作っていきたいと思っています。特に3年生は受験等にできるだけ影響が出ないように検討してまいります。

<p>質問18</p>	<p>佐屋中は通常のクラスで授業ができない生徒が数十人いると噂で聞いています。佐屋小にも、そういった児童が保健室や会議室で授業を受けているという噂も聞いています。適正規模で授業をしている佐屋中・佐屋小で通常のクラスで授業ができない生徒・児童がこれだけいるのだから、適正規模はメリットだけではなくデメリットもあると思います。計画に通常のクラスで授業ができない生徒・児童を考慮しているのでしょうか。佐屋中に立田中・永和中が統合することは反対です。適正な距離で通える学校に行くべきです。例えば、永和中に佐屋中の一部の生徒が通学、立田中に佐屋中の一部の生徒が通学すればスクールバスを利用する必要がなくなると思います。</p> <p>そして、大井町に防災活動拠点ができましたが、立田・八開の防災活動拠点はどのようにのでしょうか。この地区は木曾川が近いため水害の可能性が高いです。立田南部小と北部小が統合した学校は、防災としての機能はあるのでしょうか。2階建てには不満で、水害に対応できるように3・4階建てにするべきではないのでしょうか。地図を見たときに立田・八開の防災拠点は1/3以上の地域がカバーしきれていません。それなのに老朽化した学校を放置しており、この地区の水害被害の時の対策はどう考えているのでしょうか。</p>
<p>回答</p>	<p>通常のクラスで授業ができない生徒・児童がいるのは事実です。また、佐屋中学校を2分割にするのも一つの案ではありますが、佐屋地区の保護者の意見にも耳を傾けながら進めてまいります。</p>
<p>質問19</p>	<p>佐屋地区が2分割にしたくないという意見が多く出てそれを受け入れ、立田地区が統合したくないという意見が出て受け入れなかったら不公平になると思いますが、このあたりは同じ扱いを受けるのでしょうか。</p>
<p>回答</p>	<p>各地区の皆さんの意見を均等に聞きながら進めてまいります。立田地区の防災拠点は、学校だけではなくコミュニティセンターや立田体育館、農協等もありますが、一緒に検討してまいります。</p>

**愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化  
対策**

**八開地区説明会**

令和5年3月19日（日）

午後2時～午後3時48分

八開中学校体育館

当日参加者数 50名

## 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策八開地区説明会について

令和5年3月19日（日）午後2時～午後3時48分 八開中学校体育館

参加者からいただきましたご意見、ご質問と回答は以下のとおりです。

<p>質問1</p>	<p>アンケート結果より、賛成・反対・判断が拮抗している状態ですが、地区の方々へのアンケートは行うのでしょうか。保護者の立場から言うと、元々立田地区への統合だと遠すぎる意見が多かったと思いますが、今回佐織西中となり、当時と比べれば良いと思いました。しかし、まだ不確定要素が多いので、通学路の整備等をしていただけるよう教育委員会には期待しています立田地区が佐屋中に通学するとのことで、かなり遠いですがどうお考えでしょうか。</p>
<p>回答</p>	<p>今後、地区検討協議会や地区説明会でいただいた意見を基に、基本計画案を策定、パブリックコメントを実施、基本計画策定という流れになります。現状、地区の皆様へのアンケートは考えておりません。 通学について、準備委員会等で安全に通れる経路を確認し、関係各所と協議しながら整備を進めてまいります。 立田地区の通学に関しては、スクールバスの導入を検討しています。</p>
<p>質問2 (ご意見)</p>	<p>八開地区検討協議会や愛西市の一般質問等を傍聴し、3月の市議会での教育長の答弁において、八開地区委員アンケートの結果で、八開中学校と佐織西中学校を統合すべきという意見が約半数あると答弁されました。なぜ、過半数でもなく、半数でもなく、約半数と言われたのでしょうか。愛西市のHPや本日の資料にも配布されている八開地区委員アンケート結果の問3で13名の内、6名が統合に賛成、過半数にも半数にも達していません。逆に5名が統合に反対、2名が分からないという意見でした。教育長の一般質問に対する回答で約半数という発言は正確性を欠いた印象操作だと思います。 八開地区保護者アンケートの結果でも、問3の統合に賛成が35%、反対が37%、分からないが26%でした。このような状態の中で統廃合を強引に進める教育委員会のやり方に納得がいきません。現状を変更する説明責任は教育委員会にあると思います。保護者の過半数の同意を得るのが教育委員会の責務だと思います。仮に今後八開中学校の教育上の問題で弊害が多くなり、地域住民や保護者が統合を進めてほしいとの意見が多数になれば、速やかに統廃合を進めてほしいと思いますが、地区検討協議会委員アンケートや保護者アンケートの結果のように、今はその時期ではないというのは明らかです。なぜ、本日の説明会資料にある八開中学校と佐織西中学校を統合し、B中学校を佐織西中学校に配置するという結果になったのか、まったく理解できません。 教育委員会に求められているのは、地域を含めた中学校の在り方を真摯に受け止めていただくことです。十分な議論も行わず、少数意見である統廃合をすることになれば、子どもたちに与える影響として、民主主義が成り立たないことを教育委員会が自らやることになるのではないのでしょうか。統廃合の再検討を願います。</p>
<p>質問3 (ご意見)</p>	<p>適正規模校というのは、中規模校であるという説明ですが、中規模校が適正規模校であるという根拠はなにもありません。小規模校はメリットもあります。デメリットもありますが、少子化であれば小規模校になります。そういった中で、小規模校のメリットを突き詰めていくべきだと思います。愛西市の八開地区にとってどういった規模の学校が一番良いのかを考えるべきです。デメリットを創意工夫を持って解決していくことが、最適規模だと思います。統廃合を前提として小規模校の良さを引き出そうという努力を教育委員会はまったくしてないと思います。もう少し小規模校の可能性を高めてほしいです。</p>



<p>質問4</p>	<p>建設スケジュールの話がありましたが、今回初めて見ました。問題は、まだ賛成している住民の人達が30%ぐらいしかいないことです。地区検討協議会の人達も半分ぐらいの人しか賛成していないということです。それをそのまま強引に進めるのはやめてほしいです。民主主義に則って、賛成を得るように頑張るって進めてほしいと思います。</p> <p>地区検討協議会も本来やるべきことをやっていないと思います。本来は、通学の距離、時間、安全対策や小学校をどうするのか、避難所や地域コミュニティのことを検討するはずだったのに、結局何も議論できていません。最後アンケートを取ったのも、半分为賛成、半分为反対という苦肉の策のアンケートだったと思います。民主主義の原則に則って、住民から賛成を得られるような手順でやってほしいです。</p>
<p>回答</p>	<p>地区検討協議会の前に市の協議会を開催し、地域行政に詳しい専門家や教育関係に詳しい専門家、地域の方、保護者の方、それぞれからお話をいただきました。その中で、中学校は着手しなければならないというご意見をいただきました。子どもたちの数が少なければ、色々な意見が出にくい、球技においても制限が出てくる、合唱もダイナミックな音を感じることができるのでしょうか。子どもたちは、子どもたちの中で育つというのは、皆様も経験しているのでお分かりだと思います。</p> <p>八開地区検討協議会の委員アンケート結果でも、「同意されない気持ちもわかりますが、将来の子どもたちへの責任もあると思います。また、少子化が進むことに加え、清林館中、津島中の設置によって、ますます八開地区の生徒が減ってしまいます。このような状況において、あらかじめ手を打つことが地域の責任だと思います。」という意見もあります。</p> <p>2月19日の立田地区保護者説明会でいただいた意見の中で、いつまで合併前の地区という枠にこだわるのかという意見もいただきました。愛西市全体で学校の適正化を考えていくことは、非常に大事なことでと考えています。この八開地区から中学校がなくなる素案を紹介させていただいていますが、子どもたちの学びや育ちを考慮しながら、教育委員会としては考えてきており、これからも考えてまいります。</p>
<p>質問5 (ご意見)</p>	<p>教育委員会の言っていることがとにかく一方的で、少人数はだめだと言われています。清林館中や津島中に子どもたちを取られてしまうと話をしていましたが、子どもたちを増やすために愛西市としてどういう政策を打つのでしょうか。教育委員会だけではなく、愛西市全体として考えなければいけません。それを一方的に子どもたちを人数が多いところに入れた方がよいというのは、個人的な意見だと思います。我々も個人的な意見はあります。意見を調整するのが、あなたたちの役割だと思います。愛西市全体でどうすればよいかを考えてほしいです。</p> <p>小規模校はだめだ、大規模校が良いというのではなく、良いところもあれば悪いところもあります。どうすれば一番良いかを真剣に考えるべきです。</p> <p>市民がどういう風に思っているか、人口をどう増やすか、若い人をどうやって呼び込むかを考えてほしいです。そういうことも考えずに、ただ減らすというのはどうかと思います。</p> <p>学校の先生は、愛知県がお金を出しているのです、愛西市が損するわけでもありません。頼めるものはどんどん頼めば良いと思います。</p>
<p>質問6</p>	<p>今の方の質問で、2月19日の保護者説明会でも同じように保護者の方から若い人が入ってこれない調整区域になっていることや若い人が出て行ってしまうという方の質問がありましたが、そういった質問に対しどのような回答をいただけますでしょうか。</p>
<p>回答</p>	<p>本市においては、市独自に幼稚園・保育所等に通う児童の「給食費の副食代補助」、18歳年度末までの「通院費、入院費の無償化」、結婚に伴う本市での「新生活の住居費や引っ越し費用の支援」など、他市と比べても子育て支援策については自信を持って展開しています。</p> <p>実際の人口推移についても、国が推計として出している数字よりも人口減少はしていますが、減少の傾きは少し是正される方向への変化が認められています。施策の成果は少なからず表れているものと考えています。</p> <p>まちづくりとともにこの学校施策というの、当然行われなければならないものです。愛西市としても市の総合計画という最上位の計画に伴い、教育の施策も整合を取る形で進めてまいります。</p>

<p>質問7 (ご意見)</p>	<p>ここ何年かアンケート等を保護者として書いてきましたが、令和10年に対象となる実際の子どもたちがどう思っているか、各学校の教員の方々はどう思っているか、教員委員会からだと言えないと思うので、匿名希望でも良いし、各先生方がどう思っているか、少子化の子どもたちに対してどう思っているか、これから中学校に通う子どもたちはどう思うのか、というアンケートを取ってみたいです。</p> <p>先日、私の子どもが卒園会で、12名でしたが先生たちが揃って言っていたのが、少ないからこそすごい団結力があったということでした。それは今の社会や日本に求められていることだと思います。そういったことが小規模の良いところだと思います。</p>
<p>質問8 (ご意見)</p>	<p>保護者説明会に参加させてもらいましたが、今回の説明会に参加している人を見ても、この話を絶対に聞かないといけない未就学児や小学生の保護者の数が少ないと思います。皆さん小さなお子さんを家に残して出かけることができません。説明会の開き方や周知が遅いということもあると思います。聞かないといけない人を呼びたいのであれば、託児所を用意したり、子どもを連れてきて良いという風にしないといけないと思います。本当に聞かないといけない人にこの案が届かないと思います。また、2月19日の保護者説明会から資料の内容が変わっているので、変わっているところをどのように周知するのでしょうか。学校や幼稚園を通して周知してもらいたいです。</p>
<p>質問9 (ご意見)</p>	<p>愛西市としてなぜ総合的に考えないのかと思います。暴論かもしれませんが、立田に立田・八開の小中一貫校を作るという話がありました。そこからボタンの掛け違いが起こったと思います。そこから反対が多くなり、立田は佐屋へ八開は佐織西にする方向になったと思います。小さい学校をなくしてしまう発想になっていると思います。先程の教育長の話の聞いているとこの案を変えるつもりはないと思いました。</p> <p>八開から小学校や中学校がなくなるのは問題だと思います。学校は地域の防災拠点だと思うので、なにかあったときに私たちはどうすれば良いのか、八開の校舎を壊したら、高台がないので、そのへんも含めて考え直してほしいです。</p> <p>総合教育会議では、そういった話は出ていないのでしょうか。そこでこそ愛西市の教育について話し合うべきだと思います。</p> <p>小規模校のデメリットを言いすぎると、八開の人達を貶めているのではないかと、という気がいたします。</p> <p>全国的には、人数が減っても維持しているところがあります。何年か協議して現状のままでのところもあるはずですが。そういったところも示して、あなたたちはどうしますかという問いを発してほしいです。</p> <p>中学校は、規模が大きくなれば先生の数も足りるが、時限数が違います。国語は週4時限ありますが、音楽や美術は週1時限です。そうすると、9教科だとしても国語は1人では足りません。音楽や美術は1人では余ってしまいます。そうすると、音楽や美術の先生が国語の免許を臨時に出してもらうことになります。文科省が教員を配置しないで、臨時免許でやらせる制度がおかしいです。</p> <p>部活動も地域移行となるので考えなくて良いと思います。</p> <p>先生方の意見を聞くという意見もありましたが、先生方は匿名でも本当の意見を言いません。学校で集めるのは難しいと思います。学校ではなく、直接教育委員会に送る方式だと良いかもしれません。</p> <p>子どもが減っているののでどうするのかを部落単位で説明をしてほしいです。</p>
<p>質問10 (ご意見)</p>	<p>事務局から国の基準よりは、減り方が少ないということを知って、そういった努力はありがたいと思います。ただ、八開地区は空き家がたくさんあるので、どこに相談すればよいのでしょうか。市街化調整区域の方針を変えるのを教育の方から言ってもらえないのでしょうか。空き家対策について、具体的な対策はあるのでしょうか。</p> <p>八開地区は、土地も高く環境も良いので、佐織西中学校からこちらに通うことはできないのでしょうか。市長はどう考えているのでしょうか。合併したときは、対等合併だったと思います。</p>
<p>質問11 (ご意見)</p>	<p>開催日について、14時から八開地区の総代会をしています。そこを狙って開催したのでしょうか。できれば、調整していただきたいです。</p>



質問12	<p>中学校の話だけで小学校の話がないと思います。開治小学校が複式学級になれば検討するということがありますが、今回の結論は、八開地区は2つの小学校を残すこと。立田地区は2つの小学校を統合し、1つの小学校にして、立田中学校の場所に移転するとのことですが、この違う結論に至った経緯をお聞きしたいです。</p>
回答	<p>小学校について、立田地区検討協議会では委員の方から具体的な提案がありました。保護者アンケートでも設問として記載されました。小学校をこのままの状態にすると立田地区から小学校がなくなってしまうという懸念もあり、このタイミングで1つの小学校を設置したいという案が出たので、施策の中に盛り込んでいます。八開地区検討協議会では、どういった施策を打つべきか結論が出ませんでした。しかし、教育委員会事務局として何も対策をしないわけにはいかないので、開治小学校区の未就学児の人数の推移から、引き続き検討するため、今後検討する組織を設置していきたいと考えています。</p> <p>空き家については、新規の空き家については都市計画課にご相談ください。</p> <p>総代会について、こちらの方で地区の総代会を把握することができませんでした。今後、参加しやすいような説明会を検討してまいります。</p> <p>八開中の卒業生を貶めるような感じがするという風に捉えてみえることについて、今までは1クラスの人数が一定規模ありましたが、これからの八開中の状況から望ましい教育環境ということは言い難いです。今までの卒業生がだめということではありません。</p>

**愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化  
対策**

**佐屋**地区説明会

令和5年3月26日（日）  
午前10時～午前11時45分  
愛西市文化会館ホール

当日参加者数 70名

## 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策佐屋地区説明会について

令和5年3月26日（日）午前10時～午前11時45分 愛西市文化会館ホール

参加者からいただきましたご意見、ご質問と回答は以下のとおりです。

質問1	佐織地区には工業高校があるので中高一貫を検討してはどうでしょうか。道の駅を改築する前に教育に予算をつけて改築・修繕をしてほしいです。また、立田中と佐屋中を統合した場合は、立田地区の児童の一部は通学に負担がかかるため佐織地区の中学校へ通学できるようにしてほしいです。
回答	中高一貫については、ご意見として受け賜ります。予算については、市長部局と協議します。立田北部小児童の一部については、佐織西中学校に通えるような計画を考えています。
質問2	小中学校の再編はどれくらい先を見据えているのでしょうか。素案を聞いていると数年後しか考えていないように感じます。学区の編成は、愛西市だけで考えるのではなく弥富や津島等の自治体と一緒に再編しないのでしょうか。愛西市の人口等がこのままの状態なはずがありません。
回答	現状に対する対策を講じる必要があると判断しました。また、自治体間での学校の編成については、制度上、各自治体内で教育を実施するとされています。
質問3	今のことを何とかすることも大事だとは思いますが、何十年後の地域情勢に対応できるように柔軟に考えてほしいです。ほかの自治体含めて、色々なところと協議してほしいです。数年後のことにしか対応できないようなことに多くの税金を使ってほしくないです。
回答	学校教育法では、それぞれの自治体内で学校に通えるよう自治体内に学校を設置するようにとされています。他の自治体と一緒に学校の編成をしているところは現状把握できていません。費用については、無駄な使い方にならないよう努めてまいります。
質問4	関東ではそのような事例があります。永和地区の生徒であれば、弥富北中学校に通ったほうが近く、スクールバスがいないのではないのでしょうか。
回答	教育委員会で許可が出れば、他自治体の学校へ通うこともできます。しかし、他自治体と一緒に学校を編成することは考えておりません。
質問5	これまでの協議会等を傍聴してきましたが、一番驚いたことは将来的に南北で中学校を一枚ずつにするという計画です。なぜ、子供たちを遠くまで通学させないといけないのでしょうか。昔は低学年の頃は分校に通い、高学年になると本校に通うといった丁寧な教育がされていました。福原分校が続いたのは良い教育がされていたからです。小規模校でもとっても良い教育が受けられます。また、先日学校になじめなかった児童が小規模校に転入して立派に成長し、卒業したというニュースを見ました。過去に大規模校でいじめにあっていた生徒が永和中に転入し、無事卒業したこともありました。そのように小規模校の果たす役割があるはずなのに、なぜ小規模校を否定するのでしょうか。将来的に南北で中学校を一枚ずつになる考えを撤回してほしいです。より住民の意見を取り入れて、議論を重ねるよう要望いたします。
回答	今の授業形態では、小規模校では無理が生じることがあります。運動会や合唱等は小さい学校では難しいです。また、福原分校については、以前は大きい行事がある際は立田地区の小学校の方に参加していましたが、児童の人数が一人になった時により多くの児童のいる学校で勉強をしたいという話があり、入学してくる児童からも分校ではなく本校でという話をいただいたので廃校したという経緯があります。 将来的に南北で中学校を一枚ずつになることは、あくまでも協議会案であり、決定ではありません。

質問6	<p>永和中を佐屋中へ統合した場合は、永和地区の生徒はスクールバスを利用する形になっていくと思いますが、大雨や大雪になった時に停留所までどうやって行くのでしょうか。安全に通えることも含めて検討していますでしょうか。</p>
回答	<p>協議会案であり、決定ではありません。</p>
質問7	<p>今日の説明会は検討協議会で話されたことすべてを説明してくれると思っていました。検討協議会に出た永和中が佐屋中へ統合する話はいつ保護者に説明をしてくれるのでしょうか。その協議会には佐屋小のPTAさんが保護者代表で参加したと聞きましたが、なぜ永和地区の保護者がいない中で話が進んでいるのでしょうか。</p> <p>調べたところによると、文部科学省の小中学校適正化の手引きでは、地域の意見を取り入れながら進めるとなっていますが、愛西市の検討協議会は地域の意見を取り入れているようには思えません。そこを疑念に思い、5～10年後永和学区で過小規模になり統合されるタイミングで生徒になる年少から下の世代の保護者にアンケートを取りました。50名ほど回答があり、8割が反対で1割が分からないという結果でした。もし検討協議会で永和地区の保護者が参加していたら、永和中学校が佐屋中学校へ統合する話が進むとは思えません。また、永和地区は市街化調整区域が多いため、どうしても子供が増えません。これは、市が少子化対策のためのまちづくりに着手していないからであり、何も対策を講じていないにもかかわらず学校を無くすという話はおかしいと思います。以上のことより、検討協議会はすべての学区の保護者が参加したほうが地域にとって一番良い結論が出るのではないかと思います。この方針を一度リセットし、すべての学区の保護者が参加した検討協議会をもう一度開催を要望します。</p>
回答	<p>検討協議会では、将来の人口の推計よりどれくらいの数の学校が適正なのかという議論がなされました。その中で愛西市の地理的なことも考慮したうえでより多くの生徒が通いやすいとなると南北に一校ずつという話が出ているので、詳細は議事録を確認していただきたいです。</p> <p>今後、永和中学校が統合という話になった場合は、永和地区の小中学校の保護者や未就学児の保護者の意見を聞きながら進めてまいります。配布した資料にも永和地区の人数が載っていますが、素案の方では令和10年の小学校1年生の人数が46人となっており、3月1日現在の人数は53人となっており増えています。1年生は35人学級、2・3年生が40人学級という制度が変わったり、人口減少が予想より緩やかになるなるかもしれないので、状況を注視しながら検討を進めてまいります。</p>
質問8	<p>話を聞いていると、老朽化が進んでいくように聞こえます。先日、議会を傍聴したらPTA会費から支出されているという話を聞いて、とても驚きました。今通っている子供のために教育委員会が予算要求すべきではないでしょうか。</p>
回答	<p>予算はできるだけ確保できるよう努力してまいります。また、PTA会費については、早急に調査を進めてまいります。</p>
質問9	<p>統合した場合は、佐屋中は大規模校になるのではないかと。この説明会では、小規模校のデメリットばかり話してる。また、佐屋中学校を東西に分ければ、遠くから通学する必要性がなくなると思うが、そのあたりは検討されているのか。</p>
回答	<p>令和10年4月に素案のA中学校を開校した場合は、令和10年に1年生が201人、2年生191人、3年生が218人になります。それに沿うと、1年生は6学級、2年生は5学級、3年生は6学級となり、適正規模となる見込みです。</p>
質問10 (ご意見)	<p>長く続いてきた校名は無くすのではなく、残してほしいです。</p> <p>将来を見据えて、例えば小中一貫校にすれば管理職の先生が減らせたり、体育などの専門科目の先生を減らせる等のメリットがあるので検討してほしいです。</p> <p>永和地区は名古屋から15分程度の位置にあるので、住民票を移してでも住みたいと思わせるようなまちづくりをしてほしいです。</p>

**愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化  
対策**

**佐織**地区説明会

令和5年3月26日（日）

午後2時～午後3時25分

佐織公民館ホール

当日参加者数 37名



## 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策佐織地区説明会について

令和5年3月26日（日）午後2時～午後3時25分 佐織公民館ホール

参加者からいただきましたご意見、ご質問と回答は以下のとおりです。

質問1	<p>愛西市立小中学校の適正規模を検討されていますが、永和小、永和中についても過小規模校になると思います。その検討はされているのでしょうか。立田と八開の合併時も、お互いのメリットを重視するからこのような形になると思います。愛西市の学区を再編する可能性はないのでしょうか。すべての学校の名前を変更し、これからの子どもたちを考えて学区の再編をする可能性はないのでしょうか。この案通りに進んだ場合、国の施策が変化し人口が増えた場合対応が可能なのでしょうか。</p>
質問2	<p>施策1だけでは、説明不足だと思います。南北で1校ずつということも含めて説明がいないのでしょうか。</p>
回答	<p>永和地区の小中学校について現在、永和小は適正規模校、永和中は小規模校です。永和中については、今後の生徒数を見据えながら、過小規模校が具現化してしまう前までに検討していきたいと考えています。</p> <p>学区再編について、すべての学校を対象することは考えていません。未就学児童数の資料によると、0歳児が現在292人となります。国の推計から日本の総人口は、令和47年に8,800万人になると予想されていますが、1学年300人が3分の2になると200人になり、4つの中学校だと単純に1学年50人となります。1学年100人程度を適正規模と考え、将来的に愛西市の中学校が2校になってしまう可能性があり、このようなご提案をいただきました。学区再編を愛西市すべてに広げてしまうと子どもたちへの負担、通学路整備、校舍整備が追いつかないと予想されるため検討していません。</p> <p>教育委員会といたしましては協議会案を踏まえ、今回の素案を提案しており、南北に1校ずつというのは確定案ではありません。今後、生徒数を注視しながら検討していきます。</p>
質問3 (ご意見)	<p>自転車通学の問題について、愛西市は歩道がほとんどありません。今の内に歩道を設置しておかないとどこにも安全がないと思います。</p> <p>愛知県下でも人口が増加しているところがあります。減った理由を愛西市として考えないといけません。減ったことだけを考えると学校教育の質を高める目的に到達しないと思います。</p> <p>小中学校の統合問題ですが、この会場に若い人がいません。説明会をやる方法が間違っているのではないのでしょうか。教育委員会が言っている多様化というのは正しいと思いますが、多様化をどうするのかという考えが具体的に出ていません。今の日本の受験教育のやり方が根本的に間違っています。そのことを改善して統合問題を考えないと、今までのやり方で改善しようと思っても改善できないと思います。</p> <p>あなた達が変わらないから愛西市が魅力的なまちにならないと思います。集めることもあなた達の仕事だと思います。あなた達の言葉は正しいが、実情と違うから正しいと言えないと思います。仕事のやり方を変えないと愛西市は良くならないと思います。</p>
質問4	<p>本日の資料に当該地区の若い人の意見が出てきていないのはなぜでしょうか。そういう資料を出してほしいです。反対している人が多いと思いますが、どのくらいのパーセントでしょうか。</p>
回答	<p>八開地区と立田地区の保護者を対象に、アンケートを実施しました。アンケート結果は本日配布しています。</p>
質問5	<p>適正化の基準が示されていますが、保育園でも1クラスの人数を考え直す機運が高まっています。愛西市の学校も、先生が受け持つ1クラスの人数の基準を考えてほしいです。</p> <p>通学距離5kmを自転車で行くとのことですが、自然災害時等のときに迎えにいけるのでしょうか。5kmは少し長すぎると思います。</p>
回答	<p>1クラスの児童生徒数は、国の基準だと35人または40人学級となっています。国も少人数学級に向けての動きがあるのは把握しています。ただし、少人数学級については適正だと考えていますが、クラス数が単学級となるのは適正ではないと考えます。</p>

質問6	<p>国の1クラス人数の基準について、愛西市独自の基準を設けたらという意見に賛成です。学級数が減るのであれば、市で独自に予算を付けて教員を増やすことは可能でしょうか。難しいという表現だったので、ルール上は可能なのでしょうか。</p> <p>若い世代の人が直接市長と意見を交わせたり、現場の教員の声も聞いたりできるディスカッションする場がほしいです。</p>
質問7	<p>私の子どもは小学校1年生は37名で1クラスでしたが、2年生で2クラスになり少人数になりました。1年生のときは人数が多く、一人ひとりに目が届かないと先生から伺ったことがあります。2年生だと20名弱なのでしっかりと見ていただけたと思います。人数が多いことも必要だと思いますが、愛西市基準で上の学年と交流も含めて、価値観を共有して新たな取り組みをしてほしいです。</p>
回答	<p>国の基準に対する教員配置について、愛西市としてクラス編成を踏まえて教員配置することは不可能です。愛知県から配置してもらった教員数となります。ただし、愛西市としては非常勤講師を雇用し、1クラスの中で少人数指導ができる体制を整えている状況です。少人数指導については今後も引き続き進めていきたいと思っています。</p> <p>市長部局に対し、佐織地区説明会で保護者を含めた座談会のようなものをしてほしいという要望があったことを伝えます。</p>
質問8 (ご意見)	<p>愛西市基準は不可能とのことですが、どうすればできるようになるか考えないのでしょうか。その部分は政治が絡んでくると思いますが、なぜこの場に政治のトップが来ていないのでしょうか。</p>
質問9 (ご意見)	<p>統廃合する他自治体で、子どもが自分の命と引き換えに統合しないということで命を絶った事件があったと思います。保護者の方に言わなければいけないことですが、子どもに統合することのメリットや統合が希望的に捉えられるような流れにしてほしいと思います。</p>
質問10	<p>中学校の問題ばかりですが、小学校も同時に議題として進んでいるのでしょうか。</p>
回答	<p>まずは中学校を優先しています。小学校については児童数の推移を確認していますが、現時点で佐織地区の小学校の適正規模について検討する段階ではないと考えています。他地区では、検討する必要がある小学校は出てきています。</p>
質問11	<p>学校の統廃合は、教育のために行うものはわかってみえると思います。国の方針でも大人の都合だけでなく、児童生徒のために行うものと考えています。反対が多いと聞きますが、強引に進めていると思います。</p> <p>愛西市が子どもたちの意見を聞いたことはあるのでしょうか。また、小規模校のメリットを過小評価していると思います。</p> <p>交流の問題で、私は統廃合になった学校で育ってきましたが、50年経った今でも統合された子どもと大きな学校にいた私たちとは、仲間意識がずいぶん違うので、今ある学校をできるだけ残してほしいと子どもたちのために思います。</p>
回答	<p>現在通ってみえる未就学児や小中学校の児童生徒に直接アンケートを実施したことはありません。高校1年生へ向けたアンケートは平成30年に実施しています。</p>
質問12	<p>それ以降は、アンケートをしていないのでしょうか。また、八開地区同様、佐織地区の保護者へアンケートを取る考えはありますか。</p>
回答	<p>それ以降はアンケートを実施していません。また、現在、アンケートを実施する考えはありません。今後各地区でいただいた意見を踏まえ、教育委員会として案を作り、パブリックコメントで意見を聞いていきたいと考えています。</p>
質問13 (ご意見)	<p>意見をこういうときに聞いて素案を作っていくしかないと思います。説明会ではなく、意見交換会というのが良いと思います。子どもたちが学校に通うので、30代の親御さんたちが今の学校教育をどう思っているかに向き合わなければならないと思います。ここにいるお年を召した人たちの頃の学校教育とは時代が違っています。</p> <p>今、あなたたちがやっていることは多様化ではなく、一律の平均化だと思います。</p>